

非破壊試験技術講習会における各部門の注意事項

JIS Z 2305「非破壊試験－技術者の資格及び認証」では、受験申請資格として「訓練時間」が要求されています。本講習会は JIS Z 2305 で必要とされる訓練時間の全部又は一部を満足する設定になっており、講習会終了後、訓練実施記録（レベル1・2・3）を発行しています。

JIS Z 2305 認証試験の受験申請資格

・レベル1・レベル2・レベル3

各 NDT 方法について、表 1-1 又は表 1-2 の訓練時間を満足することが必要であり、レベル1の資格を有していない方がレベル2の受験申請を行う際には当該 NDT 方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要となります。（受験申請時から過去5年以内のもの）。

・レベル3

関連訓練コースの履修、関連 NDT の学術講演会、セミナーに出席又は発表による貢献、あるいは NDT 関連の書籍の執筆、又はそれらによる学習の証明等が必要となります。（ただし、2016 年秋期試験まで）

表 1-1 訓練時間

NDT方法（略称）	レベル1 （時間）	レベル2（時間）		レベル3 （時間） （基礎8時間を含む）
		レベル1 資格所有者	レベル1 非資格所有者	
放射線透過試験（RT）	40	80	120	40
超音波探傷試験（UT）	40	80	120	40
磁気探傷試験（MT）	16	24	40	32
浸透探傷試験（PT）	16	24	40	24
渦電流探傷試験（ET）	40	48	88	48
ひずみゲージ試験（ST）	16	24	40	20

表 1-2 訓練時間（限定NDT方法）

限定NDT方法（略称）	限定レベル1 （時間）	限定レベル2（時間）	
		限定レベル1資格所有者	限定レベル1資格非所有者
超音波厚さ測定（UM）	20	—	—
極間法磁粉探傷検査（MY）	8	16	24
通電法磁粉探傷検査（ME）	8	—	—
コイル法磁粉探傷検査（MC）	8	—	—
溶剤除去性浸透探傷検査（PD）	8	16	24
水洗性浸透探傷検査（PW）	8	—	—

本訓練コースと JIS Z 2305 認証試験で要求される「訓練時間」について

- ※1 RTレベル3・2、UTレベル3・2、MTレベル3、ETレベル3、の各講習会は、本講習会の受講のみでは訓練時間を満足致しません。また、レベル1を取得されず、直接レベル2を受験される方も訓練時間を満足致しません。別途、追加訓練が必要になります。
- ※2 レベル3の試験を受験する時はレベル3共通（基礎コース）の訓練実施記録の8時間は必須ですので集計表には、各部門のレベル3の時間プラスレベル3共通（基礎コース）を記入して頂く事になりますのでご了承下さい。

キャリア形成促進助成金制度について

キャリア形成促進助成金制度では、大企業、中小企業ごとに、事業外の教育訓練施設へ派遣した場合、助成金の給付を受ける事ができます。詳細は、最寄りの都道府県労働局へお問合せ下さい。

各種講習会注意事項

- ・ レベル 3 コース
 - ・ 使用書籍をご持参下さい。
- ・ レベル 1 コース、レベル 2 コース
 - ・ 使用書籍をご持参ください。
 - ・ 実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。ただし、更衣室はありませんのでご了承下さい。また下記の点にご注意下さい。

《RT部門》

レベル 1 及びレベル 2・実技講習会 共通注意事項

- ・ 関数電卓、分類用ゲージ（JIS Z 3104、3105、G0581）を持参して下さい。

レベル 2 コース

- ・ 放射線透過試験レベル 2 講習会を受講される方は、放射線透過試験レベル 1 の資格を所有された方か、放射線透過試験レベル 1 の講習会を受講された方を対象にしています。やむを得ず、直接レベル 2 の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させていただきますようお願い致します。
 - ・ レベル 2 の講習会受講に際し、最低限必要な項目を以下に示します。
 - ① X線装置の操作（特に制御器）
 - ② 写真処理（現像・定着・水洗など）
 - ③ X線フィルムの観察における取扱い
 - ④ 濃度計の使い方

《UT部門》

レベル 1（UT、UM）コース・レベル 2 コース・実技講習会 共通注意事項

- ・ 関数電卓を持参して下さい。

レベル 2 コース

- ・ 関数電卓を持参して下さい。
- ・ 超音波探傷試験レベル 2 の講習会を受講される方は、超音波探傷試験レベル 1 の資格を所有された方か、超音波探傷試験レベル 1 の講習会を受講された方を対象にしています。やむを得ず、直接レベル 2 の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させていただきますようお願い致します。
 - ・ レベル 2 の講習会受講に際し、最低限必要な操作項目を以下に示します。

〔垂直探傷〕

- | | | |
|----------|--------|----------|
| ①測定範囲の調整 | ②感度の調整 | ③きずの位置測定 |
|----------|--------|----------|

〔斜角探傷〕

- | | | |
|-----------|--------------|---------|
| ①入射点の測定 | ②測定範囲の調整 | ③屈折角の測定 |
| ④反射源の位置測定 | ⑤エコー高さ区分線の作成 | |

《MT部門》

レベル 1 コース・レベル 2 コース・実技講習会 共通注意事項

- ・ 関数電卓を持参して下さい。

レベル 2 コース

- ・ 磁粉探傷試験レベル 2 講習会を受講される方は、磁粉探傷試験レベル 1 の資格を所有された方か、磁粉探傷試験レベル 1 の講習会を受講された方を対象にしています。やむを得ず、直接レベル 2 の技術講習会に参加される方については、受講前までに下記の基本操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことを十分に確認の上、講習会に参加させていただきますようお願い致します。
 - ・ レベル 2 コース受講に際し最低限必要な操作項目を以下に示します。
 - ①検査液の適用方法（オイラー使用）
 - ②A形標準試験片の取扱い
 - ③探傷有効範囲の測定
 - ④溶接試験片などによる探傷操作
 - ⑤きず磁粉模様判別
- ・ 限定 NDT 方法の MY レベル 2 を受験される方は、当協会の MT レベル 2 講習会を受講しただけでは要

求項目を満たしておらず、MY レベル1の8時間分不足しておりますので、MT レベル1講習会を受講し、不足項目分の8時間として下さい。

《PT部門》

レベル1コース・レベル2コース・実技講習会 共通注意事項

・関数電卓、鉛筆、朱色／藍色鉛筆を持参して下さい。

レベル2コース

・限定NDT方法のPDレベル2を受験される方は、当協会のPTレベル2講習会を受講しただけでは要求項目を満たしておらず、PDレベル1の8時間分不足しておりますので、PTレベル1講習会を受講し、不足項目分の8時間として下さい。

《ET部門》

レベル1コース・レベル2コース・実技講習会 共通注意事項

・関数電卓を持参して下さい。

《SM部門》

レベル1コース・レベル2コース・実技講習会 共通注意事項

・関数電卓を持参して下さい。

・ひずみ測定（レベル1, 2）講習会は、東京地区で秋期（10月～1月）のみの開催です。

講習会会場案内

（受講券発送時に案内図を同封いたします。ただし、会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時に必ずご確認下さい。）

・東京地区

〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2-11-9 YSビル
一般社団法人 日本非破壊検査協会 瑞江センター

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル
一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター

・大阪地区

〒541-0057 大阪府中央区北久宝寺町2-3-6 非破壊検査ビル
一般財団法人 電子科学研究所 会議室

〒541-0059 大阪府中央区博労町2-2-13 大阪堺筋ビル
一般財団法人 日本非破壊検査協会 堺筋センター